

2017年8月21日

鹿児島大学病院 腎臓内科 で
IgA 腎症の治療を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院腎臓内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

IgA 腎症に対する扁桃摘出術＋ステロイドパルス療法の有効性に関する研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 腎臓・泌尿器センター 腎臓内科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 腎臓・泌尿器センター 腎臓内科
助教 徳永 公紀

【研究の目的】

近年、IgA 腎症に対しての扁桃摘パルス療法の有用性が我が国を中心に示されつつあります。この研究の目的は、当院において IgA 腎症と診断された患者さんを対象に、扁桃摘パルスの有効性・安全性を評価することです。

【研究の方法】

IgA 腎症の診断が確定した段階で、全身状態、合併症の有無とともに腎機能障害の程度、病理学的所見から推測される透析導入リスク群判定を踏まえ、個々の症例に適した治療法の提示を行います（適応があると判断した場合、扁摘パルス療法を提示を行います）。

その後の治療経過をカルテや検査結果をまとめる形で観察させていただく研究となります。

【対象となる患者さん】

2012年4月1日から2017年5月31日までに、鹿児島大学病院腎臓内科でIgA腎症と診断され、治療を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

年齢、性別、身長、体重、血圧、検尿所見（尿蛋白、尿潜血）、腎機能、組織の程度、合併症（高血圧、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症）、治療内容、併用薬剤

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学病院腎臓内科の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 腎臓・泌尿器センター 腎臓内科

助教 徳永 公紀

電話 099-275-5326 FAX 099-264-3504